

詩集「私のこころ」

私の友人が、詩集「私のこころ」を出版しました。

彼女とのつき合いはもう40年程になります。彼女は、いわゆるCPの重度の身体障害のある方で、今は重度身体障害者自立ホームに入居しています。

日常会話は、私たちの問いかけにわずかの頭部のうなづきと振りの動きで、イエス、ノを発信することで可能です。話しことばを発することもできず、手も動かさず、かろうじてわずかの頭部の動きで、額部のスイッチに触れることでON/OFFしてPCで文章を作成し、今はメールも送信できます。

デスクトップ上のひらがな五十音上を動くカーソルが、目的のひらがな上にきた時にONし、こうして一字一字拾っては単語を漢字変換し、文章を作成します。ですから、一つの文章を作るにも、何日か要するようです。

私と出会った頃から今までに書き留めた詩を、今回出版社の勧めもあり、詩集として出版しました。

詩集の帯には、「歩くことも、話すこともできなくとも、誰よりも『幸せさがし』の上手な少女が詩を書いた。 - それから35年のこころの軌跡 - 」とあります。どうか、彼女の生の証である詩集を、是非読んで上げてください。そして、周りの方にもご紹介いただければ幸いです。

書名：私のこころ 著者：榊原由美子

出版社：文芸社 価格：¥1,000 - (税込み)

尚、中島みゆきのファンクラブHP(「中島みゆき研究所」で検索)の「その他の書籍」欄でも紹介されています。

私事で恐縮ですが、出版を励ます中で、「刊行によせて」の一文を依頼され、また、詩集のカバ - 表紙の裏に私の撮った写真を使わせて欲しいとのことで、使っていただきました。

更に、彼女の年代毎の中表紙の挿絵を相談され、私の高校の友人が私に送って来てくれたスケッチ葉書を見せたところ、大変気に入ってくださり使って下さいました(カラ - が白黒になったのは残念)。故郷の友人も、使用を快く承諾して下さいました。

(2003年03月02日記)